

2020年9月15日



キリスト教センター 通信 Vol.15

# 激励メッセージリレー



タイトル

## 『言葉を大切に』

キリスト教センター主務 石原 正彦 さん

前回でイギリスでは、親が子どもに最初に教える言葉が PLEASE と THANK YOU。「どうぞ」と「ありがとう」、思いやりと感謝のことを書かせていただきました。

作家五木寛之氏の「大河の一滴」の中に大変興味深い文章がありました。要約すると『京都大学霊長類研究所と東京工業大学が共同で日本人と猿の共通点を探ろうとフィールドワークを行った結果、日本人男性が電話を受けたり、かけたりするときの第一声はチンパンジーがジャングルで仲間と出会ったとき最初に発するパターンと似ているそうです。先輩からの電話を受けた時は「あ、〇〇さんですか」と対応し、後輩からだ「お、〇〇くんか」というそうです。チンパンジーもジャングルの中で自分より力が強い、また長老だったら「あっ、あっ、あっ」と口をひろげて声を発し、相手が弱い場合は「おっ、おっ、おっ」と口をとがらせて威嚇するそうです。』どこかの先輩や上司に似ていませんか。〈あ〉とか〈お〉は人類が最初に使い分けた敬語かもしれませんね。

日本人は相手を敬うときに丁寧語、謙譲語、尊敬語を使い分けます。心豊かな国民だと誇りに思います。例えば「言う」は「いいます」、「おっしゃる」、「申し上げる」。「行く」は「行きます」、「行かれる」、「うかがう」です。皆さん使い分けていますか。私も間違えることはあります。しかしこれらは家庭で親との会話、学校で先生や先輩との会話の中で自然と身につけたものです。外国人が日本語は難しいといわれるのがよくわかります。

テレビで芸能人が先輩、後輩関係なくため口で話し笑い合っています。これは視聴率を上げたり、芸人として生き残りをかけたサバイバルに関係するのではないのでしょうか。テレビ外では師弟関係、先輩・後輩の関係は厳しいそうです。

日本人は丁寧語、謙譲語、尊敬語、を使い分け相手の関係性をよくしてコミュニケーションを深め長い信頼関係を築くことのできる国民です。KIU の学生は言葉の大切さを学び、社会に出たとき先輩、上司、お客様、患者様に喜ばれ長い信頼関係を築ける社会人となって社会で羽ばたいて欲しいです。

## 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

\*どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください\*

### 神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。アーメン

### 病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

### 離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

### 自然災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにある人びとを支えてくださいます。どうか今、全国各地での豪雨や台風などの自然災害によって苦難のうちにある人びとを顧み、ふたたび立ち上がる力をさずけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

神戸国際大学  
キリスト教センターの  
HPリンクはこちらまで

